

(工学研究科)
公益財団法人エプソン国際奨学財団
2020 年度奨学生(外国人留学生)の募集

2019.11.7

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 応募時に工学研究科に在籍する外国人留学生(在留資格「留学」)である者
- 2) 2020 年 4 月以降、他の奨学金を受ける予定がなく、応募もしていない者。
- 3) 2020 年 4 月から在籍残期間が 1 年以上ある工学研究科に在籍する(または在籍が確定している)大学院正規生。
- 4) 2020 年 4 月現在で 35 歳未満の者。
- 5) 財団が主催する行事に必ず参加できる者。
- 6) 日本語によるコミュニケーションが可能な者。

2 支給額

月額 10 万円

3 支給期間

2020 年 4 月から最短修業年限まで(但し、最長 2 年)

4 推薦枠

2 名 (ただし、中国籍の学生は 1 名まで)

5 提出書類

- 1) 奨学金申込書(所定 A4 用紙 1 枚、写真貼付、日本語自筆)
- 2) 身上書(所定 A4 用紙 4 枚組、日本語自筆)
- 3) 成績証明書 (学部以降、直近のものまで、別添の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きすること。)
- 4) 在学証明書 (入学予定者は「合格通知書」の写)
- 5) 私費外国人留学生身上調書 (所定用紙)
- 6) 家計状況申告書 (所定用紙)

※ 5)および6)については、2019 年 10 月以降提出済みの場合は不要。

以下は、工学研究科から推薦されることが決まった者のみ、後日提出。

- 7) 推薦状 (所定用紙、指導教員により作成)
- 8) 住民票抄本の写し (コピー可)

6 申請書類の提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係

※ 工学研究科以外の他研究科に進学予定の場合は、進学予定の研究科に提出すること。

7 締切日

2019 年 11 月 29 日(金)

※ 既に2020年度に他の奨学金の受給が決定している者および申請中の者(直接応募含む)については選考対象外となります。

2020年度 奨学生の募集について

(外国籍留学生)



公益財団法人エプソン国際奨学財団

EPSON INTERNATIONAL SCHOLARSHIP FOUNDATION

募 集 要 項

募集概要	日本の大学において、勉学・研究を行っている海外からの留学生（大学院生）で、学業・人物ともに優秀で、経済的援助が必要な学生を、奨学生として募集します。	
募集人員	大学への依頼文書に記載	
奨学金支給額	月額10万円	
奨学金支給期間	2020年4月から最短修学年限の終期まで（最長2年間）	
奨学金支給方法	3ヶ月分30万円を年4回（5月、8月、11月、2月）、指定口座へ振込みます	
応募資格 ※2020/4時点	国 籍	外国籍
	在留資格	留学
	課 程	日本の大学院正規生で修士課程または博士課程 （他大学や外国の大学から推薦校大学院に進まれる場合は翌年度以降の対象となります）
	年 齢	原則として35歳未満
	その他	① 奨学金支給期間において他からの奨学金受給予定がなく、公募財団等への応募をしていない者 ② 国際理解と親善に関心を持ち、貢献を期する者 ③ 本財団で開催する行事（交流会等）に必ず参加できる者 ④ 日本語による電話やメールでのコミュニケーションがとれ、財団との通常連絡にも支障のない者 ⑤ 奨学金受給終了後も当財団の同窓会に加入し、交流できる者 ⑥ 学業が継続可能な健康状態にあること
応募方法	提 出 方 法	応募書類は所属大学長(事務局)宛に提出してください。
	財団指定用紙	①奨学金申込書 ②身上書 ③推薦状〔指導教官〕 ④推薦書〔学長〕
	発行元機関用紙	①在学証明書 ②成績証明書 ③住民票抄本の写し(コピー可) ※マイナンバーの記載不要
応募受付期間	2019年11月1日（金）～12月20日（金）まで　＜納期厳守＞	
選考・決定	所属大学長から推薦⇒財団の選考委員会書類審査⇒書類審査合格者面接審査⇒財団理事会確認 （1）面接選考の日時・場所については、大学を通じて本人に連絡します。 （2）最終採否の結果については、所属大学長を通じて本人に書面で通知します。	

奨学金支給 停止・打ち切り	停止	やむを得ない事由により、休学または長期欠席したとき、ただしその事由が停止したときは奨学金の支給停止を解除します。
	打ち切り	以下のいずれかに該当したときは奨学金の支給を打ち切ります。 ①在学する大学において学籍を失った場合（休学、転学含む） ②病気その他の理由により成業の見込みがない場合 ③理由なく長期にわたって欠席した場合 ④学業成績または素行が甚だ不良で指導教員から就学または研究の継続が不適当とされた場合 ⑤申請書類の記載事項（奨学生を決定するための判断となる事項に限る）に虚偽が発見された場合 ⑥財団行事を無断で欠席した場合 ⑦法律や社会秩序に反する行為や財団の名誉を傷つける行為をした場合 ⑧修士2年以降又は博士3年以降に研究生や留年で大学に残られた場合 ⑨正規の職（常勤職）に就き収入を得た場合
奨学金の継続受給		翌年度も継続するか否かの希望確認のための「進路調査表」を7月初旬に送付し、9月末までに回答を求めます。継続希望者は翌年2月に継続面接を実施します。他財団の奨学金との併給はいたしません。
異動・不在届出		以下に該当するときは、速やかに財団に届出（連絡）をしてください。 ①休学または長期欠席する場合 ②転学する場合 ③留学または退学する場合 ④学則により処分を受けた場合 ⑤在留資格に変更があった場合 ⑥住所（Eメールアドレスも含む）の変更があった場合 ⑦2週間以上の長期に渡って不在となる場合 ⑧その他本人に関する重要な事項に変更があった場合
定期報告		学習の状況および生活状況の報告を目的として、「奨学生定期レポート」を提出していただきます。（5月、8月、11月、2月の月末の年4回）
交流会等		①採用式 : 4月 ②会社見学会 : 8月 ③同窓会入会式 : 2月 ④機関誌「Rainbow」への寄稿 : 7月～9月
その他		提出された応募書類及び報告書類の返却はいたしません。
照会先		公益財団法人エプソン国際奨学財団（事務局： そうま 相馬、中村） 住 所：〒392-0001 長野県諏訪市大和3-3-5 電 話：0266-57-5606 FAX：0266-57-5607 携帯電話：090-1779-2412 Eメール： EISF@exc.epson.co.jp ホームページ： https://www.epson-kokusaisyogaku.jp/

プライバシーポリシー（個人情報のお取り扱いについて）

公益財団法人 エプソン国際奨学財団

個人情報保護管理者

1. 個人情報保護に対する基本姿勢について
当財団は、奨学生採用に関して取得させていただいた個人情報は、適切に保護することが社会的責務と考え、当財団の「個人情報保護規程」に基づき、個人情報の保護、管理、運用、利用を徹底し、個人情報の厳正な管理と保護を維持し、継続的な改善に努めております。
 2. 取得する個人情報の対象について
当財団が取得する個人情報は、氏名、住所、年齢（生年月日）、性別、電話番号、電子メールアドレス、職業、大学名、家族構成、写真、銀行口座番号等の情報で、その情報単独またはそれらの情報の組み合わせにより個人を特定することができる情報で、奨学金申込書など提出書類に記載される個人情報が対象になります。
 3. 個人情報の利用目的について
個人情報は、以下の目的のために利用します。
 - （1） 外国人及び海外派遣留学生に対する奨学金の支給を行うため
 - （2） 奨学金の受給者に対する生活指導および助言を行うため
 - （3） 国際的な教育・学術・文化交流事業に対する助成を行うため
 - （4） 同窓生の交流活動を行うため
 - （5） その他、寄附行為の目的を達成するために必要な事業を行うため
 4. 個人情報の目的外利用について
上記利用目的（項目 3）以外に、個人情報を利用させていただく場合は、事前の同意を取らせていただきます。
 5. 個人情報の第三者への提供について
以下の場合を除き、個人情報を第三者に提供はいたしません。
 - （1） 第三者への提供について、本人の同意がある場合
 - （2） 法令に基づく場合、人の生命、身体または財産の保護のため、および公衆衛生の向上または児童の健全な育成のために必要であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
 6. 個人情報処理の外部委託について
個人情報の処理を利用目的の範囲内で、外部に委託する場合は、必要な契約を締結し、適切な管理・監督を行います。
 7. 個人情報の保護対策について
個人情報の正確性および安全性を確保するため、個人情報を正確かつ最新の内容に保つとともに、情報セキュリティ技術および組織管理体制の両面から合理的な安全対策を講じて、個人情報への不正アクセス、個人情報の漏えい、滅失またはき損の防止ならびに是正に努めます。
 8. 苦情、訂正、利用停止等の連絡先
個人情報の取扱責任部門（相談窓口） （公財）エプソン国際奨学財団 事務局
Tel. 0266-57-5606 / Fax. 0266-57-5607
e-mail : EISF@exc.epson.co.jp
- 本人確認の方法：ご本人確認のため、相談窓口から再連絡をさせていただきます。
9. 個人情報が取得できなかった場合に本人に生じる結果について
上記利用目的（項目 3）に必要な個人情報が取得できない場合は、奨学金の受給対象者の対象外になります。
 10. 個人情報の廃棄
個人情報は、上記利用目的（項目 3）での利用終了後、本人から事前・事後の承諾を得ず、安全かつ完全に廃棄できるものとします。
 11. 日本国の個人情報保護に関する法令、国が定める指針およびその他の規範
個人情報の保護に関する日本国の法令、国が定める指針および行政機関その他が特に決めた規範、ガイドライン、倫理基準等を遵守します。

以上

2020 年度

外国籍留学生 奨学金申込書

写真

貴財団の奨学生募集要項に従い、奨学金の支給を受けたく申し込みます。
 申込みに当たっては貴財団のプライバシーポリシー（個人情報の取扱いについて）に同意いたします。

【申込者情報】

(フリガナ) () 氏 名	国 籍	性 別(該当に○印) 男・女
英文名 Family name : First name : Middle name	生年月日 (2020. 4. 1 現在の年齢) 年 月 日生(満 歳)	
現住所 [〒 -]	住居の種類 (該当に○印) アパート・借家・下宿・寮 他()	
電 話 (携 帯) - - - () - - -	E-Mail 日本への入国年月 年 月	

【在籍大学情報（奨学金申請時点）】

大学名 大学	課程 (該当に○印) 博士 ・ 修士 ・ 学部 ・ 研究課程	学年 第 年次
研究科名 (英語名:)	専攻名 (英語名:)	
大学所在地 [〒 -] 電話 () - 内線 ()		
指導教官名		

申込年月日 年 月 日

申込者署名 _____ 印

記入上の注意事項

1. 日本語で記入し、自筆のこと
2. 記入は、楷書またはローマ字活字体を用いること
3. 数字は、算用数字を用いること
4. 年号は、全て西暦とすること
5. 固有名詞は、全て正式な名称とし、一切省略しないこと
6. 記入には黒色のインクまたボールペンを使用のこと
7. 写真は、上半身・脱帽・近影を貼付すること

身 上 書

2019年12月現在

氏 名	母国住所
-----	------

1. 学 歴

教育機関	修 学 期 間		学 校 名 (専攻)	所 在 地	取得した 学位・資格等
	入学年月	卒業年月			
高等学校	年 月	年 月	()		
大学	学部	年 月	年 月	()	
	修士	年 月	年 月	()	
	博士	年 月	年 月	()	

2. 職 歴

勤 務 期 間		勤 務 先	勤 務 地	職 名	職務内容
就職年月	退職年月				
年 月	年 月				
年 月	年 月				
年 月	年 月				

3. 家 族 状 況

氏 名	続柄	年齢	現 住 所	勤務先または在学校

4. 推薦者(必ず指導教授を含むこと)

推 薦 者 氏 名	関 係	連 絡 先	電 話
			() -

5. 保証人(日本での身元保証人：※いない場合は未記入でよい)

保 証 人 氏 名	関 係	住 所	電 話
			() -

6. 日本語の学習歴

学 習 機 関 名	所 在 地	学 習 期 間			日本語の能力 (自己評価)
		開始時期	修了時期	期間	
		年 月	年 月		

7. 経済状況

(1) 1カ月の平均収入額 : _____ 円

収 入 の 内 訳	詳 細
①仕送り額 (月額) 円	(仕送り者の続柄および職業) 続 柄 : 職 業 : 仕送り者の年収 : 円
②本人の収入額 (月額) 円	(アルバイトの収入および職種) 収 入 : (月額) 円 職 種 :
③奨学金 (現在奨学金を受けている者のみ) (月額) 円	奨学団体名 : 受給期間 : 年 月 ~ 年 月
④その他の収入 (月額) (配偶者の所得等) 円	(内訳を具体的に記入のこと) 円 円 円

(2) 1カ月の平均支出額 : _____ 円 (授業料等を除き、生活費を計上のこと)

支 出 の 内 訳	詳 細
①住居費用 (月額) 円	
②食費 (月額) 円	
③その他の支出 (月額) 円	(通学費等経常的経費を具体的に記入のこと) : 円 : 円 : 円 : 円

(3) 経済状況について特に強調したいことがあれば記入のこと

8. 授業料等の状況

(1) 授業料等の納付額

大学所定の授業料	大学所定の納付金等	合 計
(年額) 円	(年額) 円	(年額) 円

(2) 授業料の減免 (該当する項目の口内に✓印を記し、割合を記入のこと)

☐ 受けている	☐ 受けていない	☐ 申請している
☐ 全額 ☐ 半額・・・(50%) ☐ 一部・・・(%)		☐ 全額 ☐ 半額・・・(50%) ☐ 一部・・・(%)

(3) 授業料等の納付方法

(該当する項目の口内に✓印を記し、金額を記入のこと。なお(1)の授業料等の金額と一致すること)

仕 送 り	自 己 負 担
☐ 全額仕送り：(年額) 円 ☐ 一部仕送り：(年額) 円 (仕送り者との続柄および職業) 続 柄 ： _____ 職 業 ： _____	☐ 全額自己負担：(年額) 円 ☐ 一部自己負担：(年額) 円

9. 他の奨学団体等への応募状況 (該当する項目の口内に✓印を記し、必要事項を記入のこと。)

☐ 応募していない	☐ 応募している (☐ 応募中 ☐ 応募予定)
	奨学団体名： _____ 月 額 ： _____ 円 受給期間 ： _____ 年 月 ~ 年 月

10. 母国の連絡先

氏 名	本人との続柄
住 所	電話番号

11. 本財団奨学生に応募する理由(特に強調したいことを具体的に記入のこと)

12. 日本に留学することになった経緯(なるべく詳細に記入のこと)

13. 留学目的(なるべく詳細に記入のこと)

14. 研究領域(具体的に何を研究して、どうしたいのかを詳細に記入のこと)

15. 卒業後の進路予定(就職する予定(その場合、職種等)、大学での研究活動を継続する予定、帰国して就職/研究活動する予定、など将来の予定等を具体的に記入のこと)

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2020年度貴法人の奨学生募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として選考していただきたく、申請いたします。

公益財団法人エプソン国際奨学財団
理事長 碓井 稔 殿

申請年月日 年 月 日

申請者署名 _____ 印

2020 年度

(大学院奨学生)

推 薦 状

公益財団法人エプソン国際奨学財団

理事長 碓 井 稔 殿

(フリガナ) () 氏 名		入学年月 年 月
専攻分野	研究科	課 程 (該当を○で囲む) 博士 ・ 修士 (2020 年 4 月現在) 第 年次
	専 攻	
推薦の理由 (被推薦者の経済的困窮度、勉学状況、生活態度その他特筆すべき事項)		

推薦者 (指導教官・学科主任等)

年 月 日

所 属 機 関 _____

職 名 _____

氏 名 _____ 印

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

	成 績 評 価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
- ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
- ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
- ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
- ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
- ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
- ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
- ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

*** 2019年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。**

2019年10月現在

身 分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号		
学科名 専攻名		指導 教員名		研究室 TEL	
氏 名	(漢字)			既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍		
東 北 大 学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了			
東北大学で の移動 (新しい順 番に)	在籍身分	在籍期間			
		年 月 ～ 現在			
		年 月 ～ 年 月			
		年 月 ～ 年 月			
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート (住所)				

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

[illegible]

*No need to submit if you have already submitted anytime in **October 2019 or thereafter** .
 * **2019年10月以降**に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在 籍	学部 年 MC 年 、DC 年 、大学院研究生	学籍番号	
氏 名			

家計状況

* **2018年10月から2019年9月までの**あなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2019年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2018年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2017年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった